



イチゴ編

inochio
GROUP

病害虫注意報
2018年10月作成

※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

収穫が始まる前に定期防除をしっかり行い 年内の病害虫発生を抑えましょう！

定植後 おすすめローテーション

時期	対象 病害虫	薬剤名	倍率	使用 時期	回数	影響日数			
						ミツバチ	マルハバチ	ミカド	刊
10月 ①	炭疽病	ゲッター水和剤 予 治	1,000倍	収穫開始 21日前まで	3回	0日	1日	14日	
	ハダニ類、ハモンヨウ ヨウムシ、オオバコガ	アファム乳剤 速 成虫 幼虫	2,000倍	前日	2回	2日	2日	7日	
10月 ②	炭疽病、うどんこ病	サリット水和剤 予 治	2,000～ 4,000倍	前日	3回				
		※ 炭疽病は2,000倍							
10月 ③	ハダニ類、アブラムシ類 コナジラミ類、うどんこ病	フーモン ※ 野菜類登録 速 成虫 幼虫	1,000倍	前日	—	1日		1日	
	炭疽病、灰色かび病 うどんこ病	アミスター2070アブル 予 治	1,500～ 2,000倍	前日	本圃 3回	0日	1日	0日	
10月 ④		※ 炭疽病は2,000倍、灰色かび病は1,500倍							
	ハダニ類、シラメンホリダニ	コマルト水和剤 速 成虫 幼虫 卵	2,000倍	前日	2回	1日		7日	
10月 ⑤	灰色かび病 うどんこ病	カリグリーン ※ 野菜類登録 治	800～ 1,000倍	前日	—	0日		0日	
		※ 灰色かび病は800倍							
10月 ⑥	ハモンヨウ、オオバコガ	アプレ 70アブル 中 幼虫	1,000倍	前日	4回	1日		0日	

★ いずれの薬剤も、高温時・多湿時の散布は控えその日のうちにきちんと乾かしましょう！

おすすめ資材

気門封鎖剤を上手く利用して
他剤の使用回数を抑えましょう。

フーモン

(ポリグリセリン脂肪酸
エステル乳剤)
適用病害虫；
ハダニ類、うどんこ病
アブラムシ類、コナジラミ類
1,000倍／収穫前日

有機微生物入りの土壌改良剤！

健全な根圏環境の形成、
毛根の増加による根張り促進に！

トリコデソイル



トリコデル菌 250g／箱
灌注処理
125～250g／10a
土耕の場合、施用頻度は
定植後1～3ヶ月毎

苗の活着改善に！毛細根の充実にも！

ファイトメット

肥料登録：
生第84050号

灌注30～50cc／ポット
3,000倍



花芽分化の充実！窒素代謝の促進に！

エマックス赤

肥料登録：
輸第9423号

10日おきに2回
葉面散布1,000倍

